

アステラス製薬 高規格救急自動車 3台を寄贈

-9月9日「救急の日」-

アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：畑中 好彦、以下「アステラス製薬」）は、9月9日の「救急の日」にあたり、消防庁から推薦のあった、全国の3つの自治体に高規格救急自動車を寄贈いたします。

当社は社会貢献活動の一環として、1970年より各地域における救急業務の高度化、救急業務体制のさらなる充実に協力するため、各自治体の消防機関へ救急自動車を寄贈してまいりました。この寄贈は本年で43回目となり、今回寄贈する3台と併せて累計寄贈台数は228台（うち、高規格車は49台）となります。



救急自動車の出動件数、搬送者の数は、高齢化の進展や災害の多様化を背景に高い水準が続いています。また、医療の専門化・集約化の進展により、救急患者の搬送距離及び搬送時間が伸び、救急搬送体制が広域化していることから、搬送中に適切な救急処置を実施することが重要となっています。そのため、救急救命士が搭乗し、高度な救急資機材を積載する、高規格救急車への要望も高まってきました。このような背景から、2008年以降の寄贈救急自動車は全て高規格救急車といたしました。

アステラス製薬は、救急自動車寄贈事業をはじめとして、今後も主に医療や健康の側面から社会に貢献するさまざまな活動を積極的に進めていきたいと考えています。

<救急自動車 寄贈先>

伊勢市消防署西分署

(三重県伊勢市)

幡多中央消防組合 四万十消防署西土佐分署

(高知県四万十市)

立山町消防本部 立山町消防署

(富山県中新川郡)

以上